

企画展

横浜ベイブリッジと 鶴見つばさ橋

港を支える長大橋

横浜ベイブリッジ開通35周年

鶴見つばさ橋開通30周年

2024
9/14
SAT

↓
11/10
SUN

開館時間
10時～17時(最終入館16時30分)

休館日

月曜

※ただし9/16(祝)、9/23(月曜)、10/14(月曜祝)、11/4(月曜)は開館し、翌火曜日休館



みなとの博物館
ネットワーク・フォーラム
助成事業



首都高速道路株式会社蔵

 **横浜みなと博物館**
Yokohama Port Museum
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1

入館料：一般 500円 / 65歳以上 400円 / 小・中・高校生 200円

※本展は横浜みなと博物館の入館券でご見学できます。
※帆船日本丸との共通券(一般800円、65歳以上600円、小・中・高校生300円)で本展もご見学できます。
※毎週土曜日は小・中・高校生は共通券が100円の特別料金になります。※本展のみ見学の入館券はございません。



企画展

横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋

横浜ベイブリッジ

横浜航路をまたぎ、本牧ふ頭と大黒ふ頭を結ぶ2層構造の斜張橋。1964(昭和39)年に建設が計画され、1980(昭和55)年に着工した。1989(平成元年)年9月27日開通。
全長860m/中央径間460m



横浜ベイブリッジ開通式
1989(平成元年)年9月27日

開通式ではテープカットの後、関係者の車による渡り初めのパレードが行われた
首都高速道路株式会社蔵



ベイブリッジと客船(仮題)
水彩 画:柳原良平
1979(昭和54)年

橋桁の下をくぐって客船クイーン・エリザベス2が横浜港に入港する様子。完成予想図のため、橋の色や構造が実際の横浜ベイブリッジとは異なる 当館蔵

模型 横浜ベイブリッジ 縮尺=1/500
2018(平成30)年制作

横浜ベイブリッジのデザインに携わった大野美代子氏の回顧展に合わせて制作された模型。2004(平成16)年に開通した下層部の国道357号も再現されている
公益財団法人ギャラリー エークウッド蔵



横浜ベイブリッジの下をくぐって入港するクイーン・エリザベス2
撮影:内田日彦 1992(平成4)年2月23日

横浜ベイブリッジの主塔上から撮影した客船クイーン・エリザベス2の入港 当館蔵

2つの橋の歴史を振り返る初めての企画展

鶴見つばさ橋

鶴見航路をまたぎ、大黒ふ頭と扇島を結ぶ1面吊りの斜張橋。1971(昭和46)年に建設に向けた調査が行われ、1987(昭和62)年に着工した。1994(平成6)年12月21日開通。全長1,020m/中央径間510m

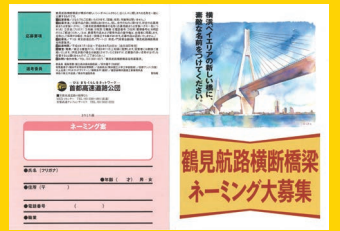


建設中の鶴見つばさ橋 撮影:内田日彦 1993(平成5)年

橋桁とケーブルの架設工事の様子
当館蔵

リーフレット
鶴見航路横断橋梁 ネーミング大募集
1994(平成6)年

橋の名称が公募され、12,298件の応募作品から「鶴見つばさ橋」の名称が選ばれた
当館蔵



鶴見つばさ橋を走行する
リムジンバスや乗用車
2020(令和2)年8月22日

赤レンガ倉庫などの横浜の観光地と羽田空港を結ぶリムジンバスも、鶴見つばさ橋や横浜ベイブリッジを利用する
京浜急行バス株式会社蔵

EVENT 学芸員による展示解説

日時 9/23(月・振休)・10/26(土)

11/10(日) [各日2回 11:00~、14:00~]

会場 横浜みなと博物館特別展示室

企画展の詳細はこちら



参加費 無料

※ただし、入館券が必要。申込不要、当日特別展示室入口にお越しください

柳原良平アートミュージアム特集展示

良平の横浜みなと・街歩き

開催中-10/14(月・祝)

柳原良平の日本丸がいっぱい!展(仮称)

10/16(水)-2025.5/6(火・振休)

帆船日本丸展帆 9/22(日・祝)、10/6(日)、13(日)、20(日)、11/3(日・祝)、10(日)

 横浜みなと博物館
Yokohama Port Museum

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1
TEL 045-221-0280 / FAX 045-221-0277

公益財団法人 帆船日本丸記念財団
https://www.nippon-maru.or.jp/



ACCESS

●JR根岸線、市営地下鉄ブルーライン 桜木町駅下車 徒歩5分
●みなとみらい線 みなとみらい駅・馬車道駅下車 徒歩5分

